

本学は、平成17年度文部科学省「特 「現代的教育ニーズ取組支援プ



特色GP、現代GPとは何か？

埼玉県立大学は文部科学省より、特色GPおよび現代GPの指定を受けました。GPとは聞き慣れない言葉ですがgood practiceの略で、それぞれ「特色ある大学教育支援プログラム」と「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」の通称です。

高等教育は社会・経済・文化の発展や国際競争力の確保等の国家戦略の上で極めて重要な役割を担うことが求められています。その要請に応えるため、教育機関は競争的環境の中でそれぞれの個性・特色を明確にし、多様な発展を遂げていくことが必要であり、文部科学省では、これらの重要な課題に向けた各大学における大学教育改革の取組を一層促進するため、「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」の各プログラムを展開しています。特色GPおよび現代GPはその一部です。平成17年度は、特色GPで410件の申請から47件が、現代GPは509件の申請から84件が採択、という狭き門でした。ちなみに一つの大学での両GPの同年度採択はまれです。

特色GPは、大学教育の改善に資する実績のある取組のうち、特色ある優れたものを選定し、選定された事例を広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことにより、国公私立大学を通じ、教育改善の取組について、各大学及び教員の改革意欲を高めるとともに、他大学の取組の参考になり、高等教育の活性化が促進されることを目的とするものです。

現代GPは、各種審議会からの提言等、社会的要請の強い政策課題に対応したテーマ設定を行い、各大学等から応募された取組の中から、特に優れた教育プロジェクト(取組)を選定し、財政支援を行うことで、高等教育の活性化が促進されることを目的とするものです。どちらかというところから「これからの取り組み」を支援します。(萱場一則)



本学におけるこれまでの「連携と統合」の取組と今後の計画

今日、高度化、複雑化する保健医療福祉の課題を解決するためには、それぞれの分野が他の分野と連携し、利用者において統合するサービスを提供する必要があります。本学ではこの考え方を、「連携と統合」という教育理念として位置づけてきました。

本学では、学生が卒業後にこうした援助活動を行うだけでなく、在学中から援助者としての理念を共有し、その上で自らの専門的な役割を果たす資質や態度を涵養することをめざしています。そのため、平成11年度の開学以来一貫して、連携と統合科目群に代表される教育課程の構築、学科の枠をこえて学生が実践的に学びあうインタープロフェッショナル演習、主体性の育成を目的とする問題解決型学習の導入、連携と統合を支える地域活動や国際活動など、全学をあげての実践、すなわちインタープロフェッショナル教育を通じて、保健医療福祉における連携と統合をめざした教育展開を行ってまいりました。

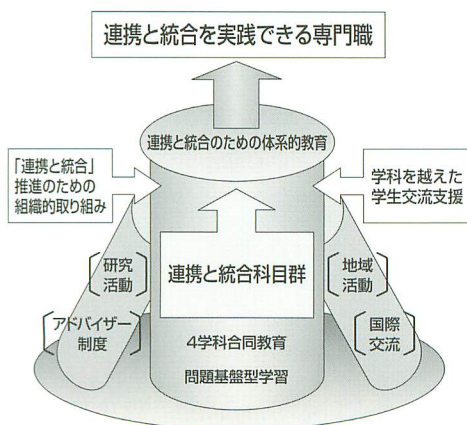
また平成18年度から健康開発学科という新たな学科を加え、新しいカリキュラムに基づく教育を行ないます。そこで、これまでの教育・研究・社会貢献の成果を生かし、さらにそれらを発展・充実させるために、新しい教育方法を創造していくことを決意しました。

具体的には、多様なケアの担い手となる学生が共通して学ぶ「連携と統合科目群」を発展・実践させ、新たに4年次において学科混合の小グループ演習科目「インタープロフェッショナル演習(以下IP演習)」を全学必修で開講します。

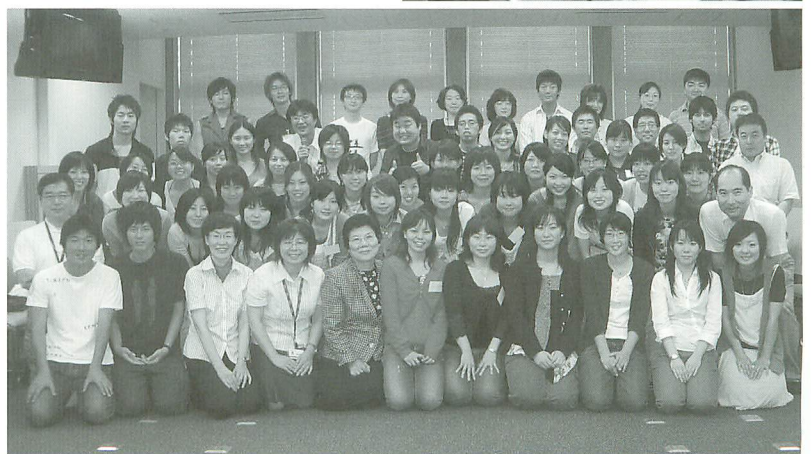
このIP演習を、単なる抽象的な学習にとどまらず、学生の実践力を育むものにするためには、地域の援助者や住民の方々の協力が欠かせません。そこで、本学の研究・教育機能を生かして、援助者や住民の方々に対して、多様な職種の理解や連携技術、ファシリテーション技術に関する研修事業、情報提供活動を、埼玉県の保健・福祉行政と連携して実施します。

これらの教育基盤を整えながら、IP演習を実施し、またその過程で援助者や住民が実際の援助活動やサービス利用に役立つ知識や技術を修得できるよう、研修事業を実施します。

このように学生・教員・地域の援助者・住民が相互に学びながらIP演習に取り組み、地域で発生する具体的な課題に対応できる実践力のある学生の養成を目指すことが、今後の本学の「連携と統合」の教育のねらいです。(新井利民)



埼玉県立大学の「連携と統合体系的教育」の取り組み



8月に自治医科大学学生も交えて行った「IP演習」の一幕

色ある教育活動支援プログラム」及び「プログラム」に採択されました!!



Interprofessional Work (IPW)、 Interprofessional Education (IPE)とは?

本学では、Interprofessional Work (IPW:「専門職連携」)を、「複数の領域の専門職者(住民や当事者も含む)が相互理解しつつ、それぞれの技術と知識を提供しあい、共通の目標を目指す協働した活動」と定めています。また、Interprofessional Education (IPE:「専門職連携教育」)を、「自律した専門職者として専門的な役割を遂行し、他の職種を理解し、尊重し、支援してIPWを実践するための能力を育成する教育」と定めています。

両者はイギリスやカナダ、アメリカなどを中心に用いられてきた概念及び教育・実践の形態です。本学ではこの間、イギリスを拠点としてIPEを推進しているUK Centre of Interprofessional Education (CAIPE:英国専門職連携教育センター)と交流を持ち、そして昨年には法人会員となり、教育方法の検討や教職員の研修に協力してもらっています。



プロジェクトの目標

1 推進のための組織・拠点・情報基盤づくり

県内10カ所の保健福祉圏域で順次「IPE推進会議」を設置し、多職種・多機関の連携に関わる課題収集と、その解決に向けた取組の企画立案、そして本学IP演習への協力・評価の推進組織として位置づけます。

2 IPWの実践力と教育力を備えた人材養成

幅広い職種に呼びかけ、本学のIP演習の考え方をはじめ、IPWに關する基礎的な理論学習とその効果や実践的な方法を学ぶ演習、実習指導方法の理論学習・演習を行なう「IPEコーディネーター養成研修」を県内5地域で計画的に開催します。また向こう4年間、国際セミナーを本学で開催し、学内外の教員や援助者に対して、IPEの展開方法を習得する場を設けます。

3 IP演習の教育コンテンツの開発

実際に5日間のIP演習を実施するにあたり、現場の課題に即した演習テーマ設定や学習環境づくりについて教員と協働して検討する、「準備ワークショップ」を開催します。また18年度より試行的IP演習を拡大し、21年度の正式実施に向けた準備を進めます。

4 IPWを推進する地域開発

学生が行なうIP演習を、報告書やプレゼンテーションによって当該地域の実践へ還元し、それを素材として地域のケアの質の向上に資するような研修プログラムを開発・実施します。

◆大学改革委員会 GP実施部会◆

坂田惇教(教育研修センター所長)／大塚真理子(看護学科教授)／長谷川真美(看護学科助教授)／萱場一則(健康開発学科準備室教授)／原和彦(理学療法学科教授)／大嶋伸雄(作業療法学科助教授)／石原正三(一般教育会議教授)／島崎美登里(一般教育会議教授)／丸山一郎(社会福祉学科教授)／朝日雅也(社会福祉学科助教授)／新井利民(社会福祉学科助手)／小山有一郎(大学改革推進室長)／平林利夫(総務担当部長)／山中薫(教学担当部長)



埼玉県立大学国際セミナー'05

埼玉県立大学国際セミナー'05が「保健医療福祉サービス改革とインタープロフェッショナル教育」を主題として、平成17年11月25日、26日、29日の3日間、本学において開催されました。

埼玉県立大学は、保健医療福祉サービスの質の向上を図るために、それぞれの専門職が連携して統合的なサービスを提供しうる人材を養成することを意図して、専門職連携教育(Interprofessional Education:IPE)を進めてきました。これから4年間継続的に実施される国際セミナーの第1回目は、この分野で優れた実績を有する英国専門職連携教育推進センター(CAIPE)所長のバーバラ・クレイグさん、開発部長のヘレナ・ロウさんを迎えて、英国の専門職連携教育の背景と現状についてともに学ぶセミナーを企画しました。

初日は、学内外の約500名の参加を得て、クレイグさんの講演「英国のIPEに関わる法律及び政策の現状」、ロウさんの講演「英国でのIPEの新しい方向と発展-保健医療福祉サービスの改革-」、本学の大塚真理子教授の講演「日本におけるIPEの取り組みと課題」があり、質疑応答や意見交換を行いました。2日目は、ワークショップ形式で、約70名がグループで話し合いを行い、英国からのお二人の説明とコメントがありました。IPEに対する理解を深め、英国のIPEの理論および実践モデルについて学ぶ機会となりました。3日目は、本学の教員20名が、英国からのお二人の導きのもと、IPE推進役であるファシリテーターのあり方について学び、小グループおよび全体で活発な議論を行いました。

今回の国際セミナーについては、学内外から有益なコメントをいただきました。このセミナーをひとつの機会として、本学の柱のひとつである専門職連携教育についてさらに研究、実践を重ねていく必要があります。後援会の皆様にはご協力に感謝いたしますとともに、今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。(丸山一郎・島崎美登里)

